

でんでら通信 第百十九号 令和六年三月

春の永代供養会

三月十日(日) 午後二時より

今回は、本山からの巡教師であります福岡県 龍松寺 住職 武久寛海師にご法話いただきます。
どうぞ方障お繰り合わせの上ご参詣ください。

坐禅会

三月二十八日(木) 十時に坐禅会を開催します。
みなさんのご参加をお待ちしております。

花まつり

四月八日はお釈迦様のお生まれになった日です。
今年も門前に花御堂を祀り甘茶供養をいたしますので、みなさまどうぞご参詣ください。

檀家総会

去る二月十八日(日) 午後二時より、当寺本堂にて檀家総会が開催されました。出席者十七名、委任状七十一により過半数に達し、総会は成立しました。
令和五年禅林寺会計決算報告、令和六年禅林寺会計予算案審議、総代選挙開票を行いました。
総代選挙にあつては、川村正様(再任)、位田嘉則

様(再任)、位田利次様(新任)、位田直哉様(新任)が選出されました。任期は3年です。よろしくお願ひします。

能登半島地震義援金

ご存じのとおり、令和6年元日午後4時過ぎに、石川県能登半島を震源とするマグニチュード7.6の地震が発生しました。激しい揺れによってたくさん住宅が倒壊し、同時に大津波が発令され各地沿岸に津波が到達し大きな被害が発生しました。また地震の影響で輪島市の朝市通りでは大火災が発生し、200棟以上の建物が焼失するという壊滅的な被害を受けました。

石川県では2月26日現在、建物の倒壊、土砂崩れ、大津波などの被災によって、241人の死亡者が確認され、安否のわからない方9人、災害関連死の疑いがある方が15人みえます。

地震発生から8週間となる中、能登地方を中心に2万戸あまりで断水が続いていて、住民は不自由な暮らしを余儀なくされています。また770戸が停電しています。

そのような中で、避難所に避難している人は、1万1735人となっています。降雪厳寒の中、避難所内には腹痛を訴える方、コロナウイルスやインフルエンザに感染する人たちが増加し健康状態の悪化が懸念されます。大勢の中で共同生活していれば、他人との関わりなどで気苦労も大変なことでしょう。そこで自宅に止むを得ず過ごす人たち、車中泊を強いられている人たちも数多くおられる状況だとい

う報道がなされております。

被害に遭われた方の中には、元日初詣に出かけ、「この1年が良き年でありますように」と願ひ事をされた方もみえることでしょう。なのにまさか、その日のうちに大きな天災により、こんなことになるのは……。神さまも仏さまもないのか、と天を仰いだ方もあったことでしょう。

それでも、人は祈らずにはいられません。なぜでしょう。それは人の力ではどうしようもない計り知れない大きな力、天災だからではないでしょうか。人類の歴史には、天災との関わりが刻まれています。地震、台風、火災など人間の力ではどうしようもない災難が降りかかってきました。そのたびに、人々は困難を乗り越え、立ち上がって繁栄を築いてまいりました。被災された方々には、七転び八起き、どうか今回の天災にもめげず、何とかまた、みんなに笑顔が戻れることを祈ります。

被災された方々の中には、妙心寺派の寺院や花園会員の方もみえます。ついては妙心寺派では、罹災された方々を援助するための義援金を花園会本部にて受け付けることとなりました。

みなさまからの義援金は被災地の寺院及び花園会員さまをはじめ、被災者の支援に充てていただきます。

禅林寺では、本堂内に義援金箱を設け、みなさまの温かい「よりそい」の心を受けさせていただきます。本山へ送金させていただきます。

なお、禅林寺では3月25日を締め切りとさせていただきます。